アンケート集計結果
＆　自由記述へのお返事をお届けします。

青字は山室コメントです。

文章表現論　コラム特区　アンケート

本学初の Web 講義。どんな風に受講していただいたでしょうか。
来年度のために、ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

2007年2月17日
最終講義で実施

当日出席者　49名
回答者　45名

講義全体について……　□満足　□まあ満足　□やや不満　□不満

▽講義版とWeb版に分けてみると

講義版　……　□満足　□まあ満足　□やや不満　□不満

Web版　……　□満足　□まあ満足　□やや不満　□不満

講義版とWeb版の比率　□現状のままでよい
□講義版をもっと多く
□Web版をもっと多く

▽達成感と負担感

自分の文章力（書く力・読む力）は向上したと思いますか？

書く力　……　□ずいぶん　□少しは　□全然

読む力　……　□ずいぶん　□少しは　□全然

コラム投稿3本以上という単位認定条件は？

……　□軽すぎる　□ちょうどよい　□重すぎる

コメント5本以上＋投票というWeb版の出席条件は？

……　□軽すぎる　□ちょうどよい　□重すぎる

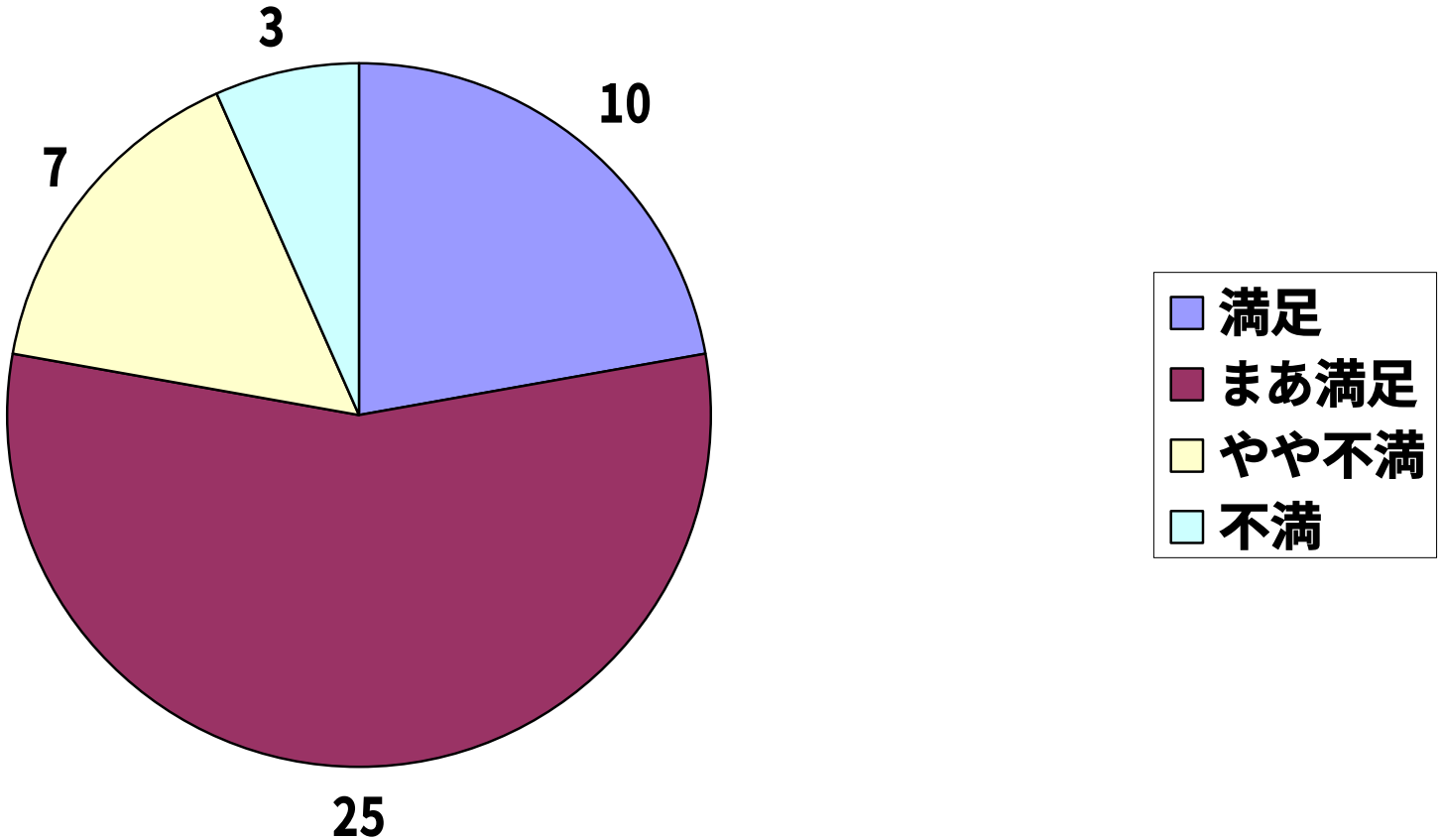
↓社会工学専攻のかたのみお答えください。

この科目が必修/選択必修であることに……　□賛成　□反対

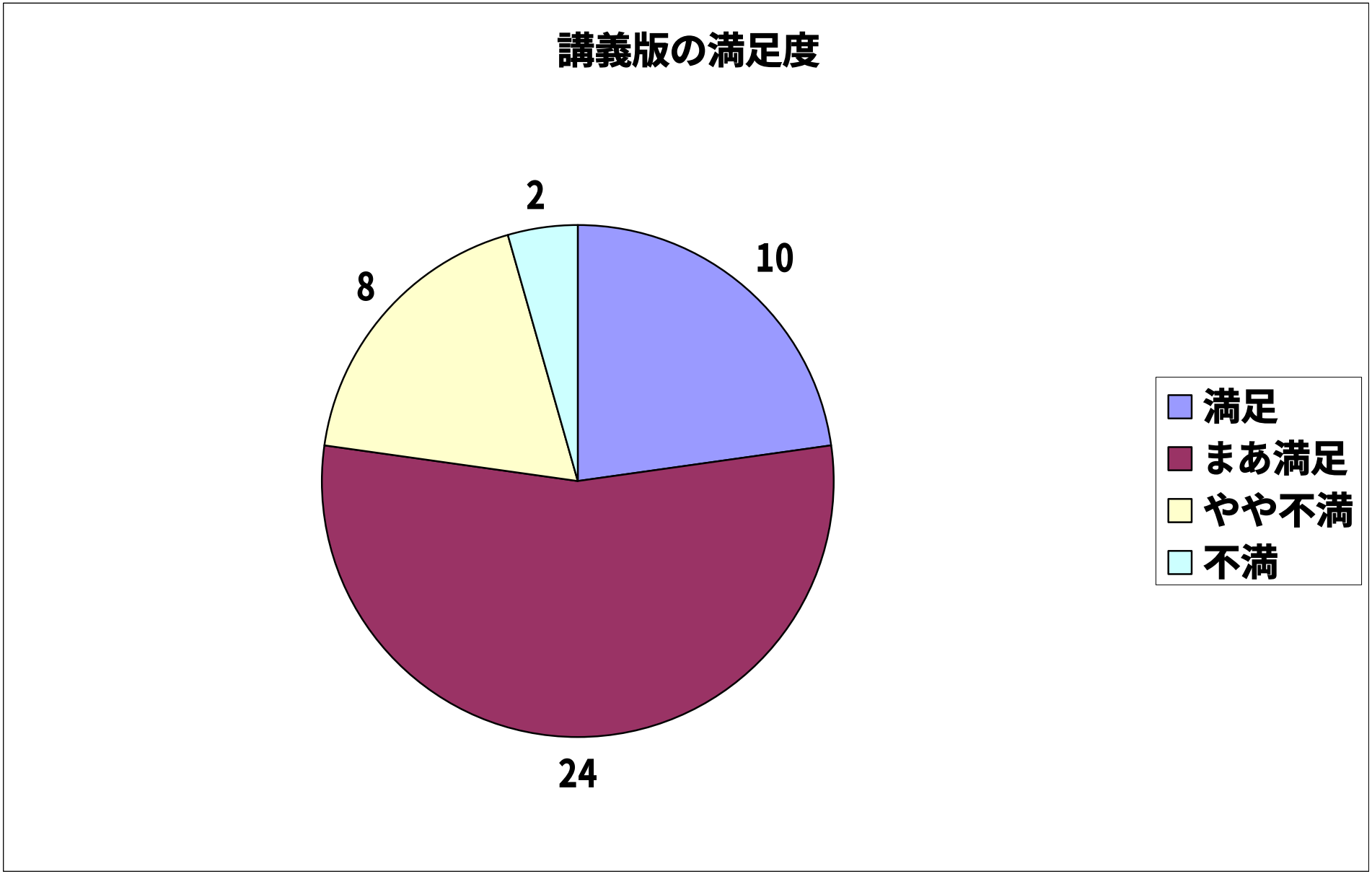
替わりに、もしくは追加で必修にしたほうがよいと思う科目があれば↓

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

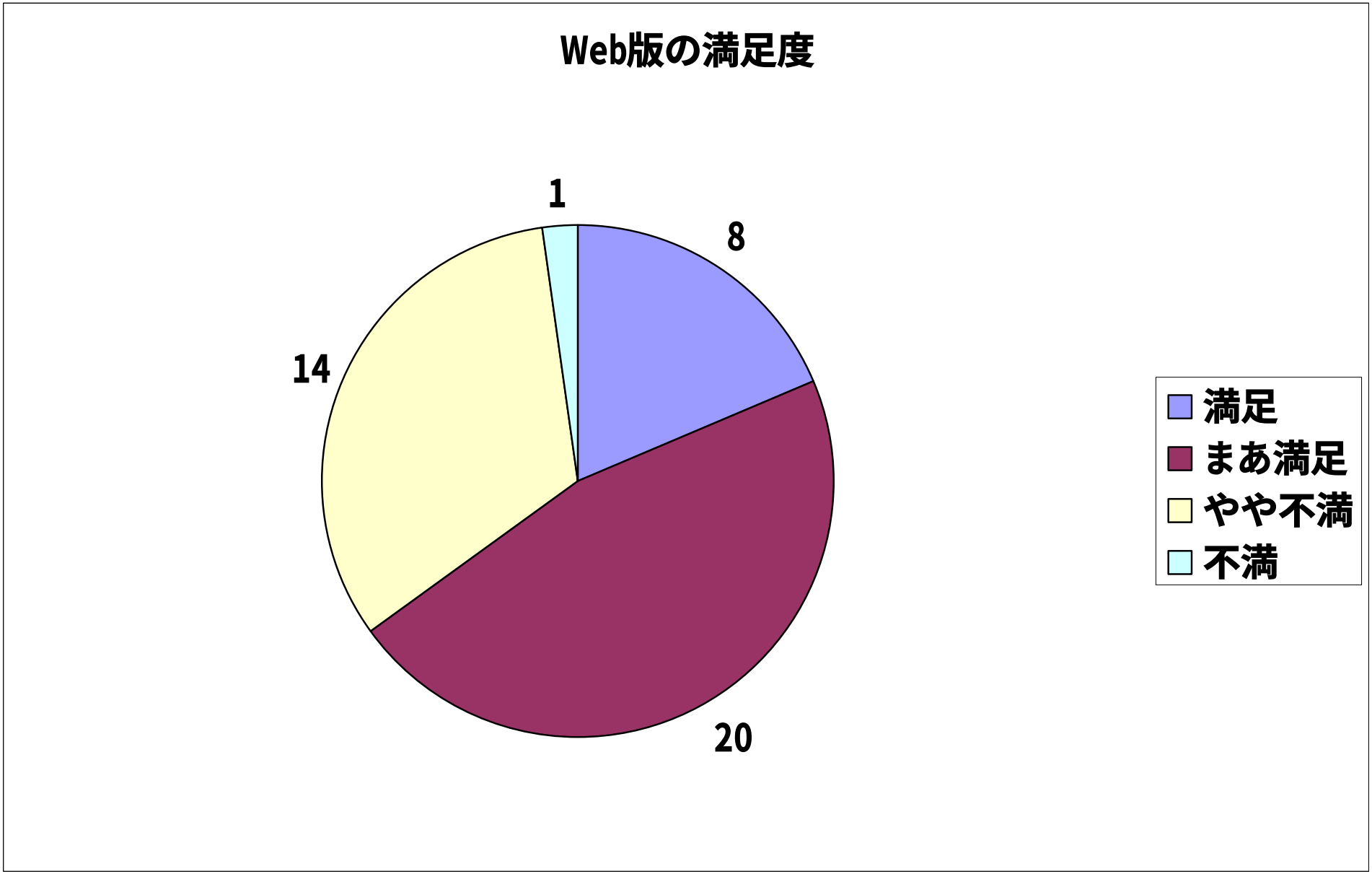
講義全体の満足度



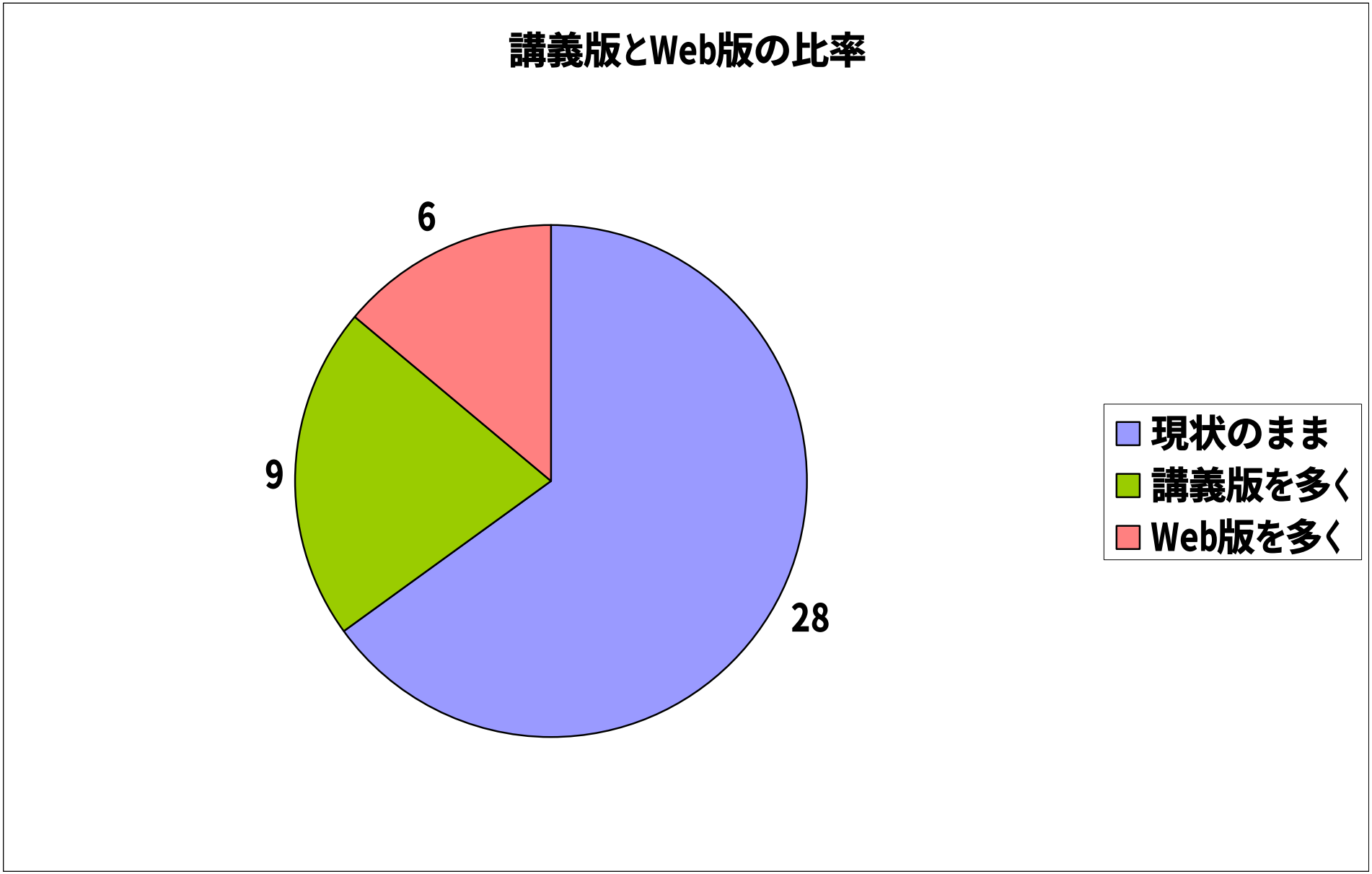
どうにか及第点をいただけた、ということでしょうか。
この数値をもっと上げてゆくことが次の目標です。



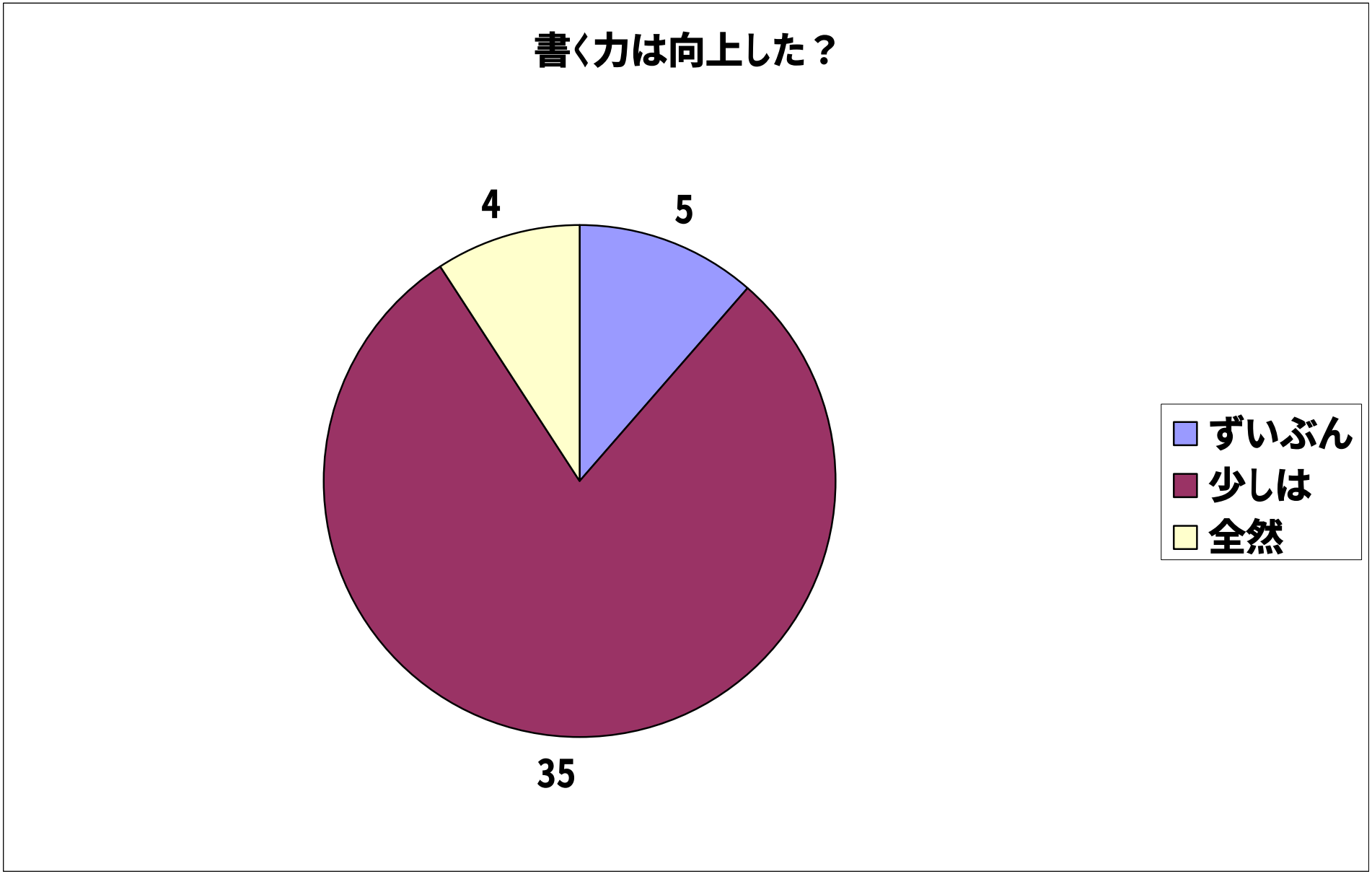
講義版の満足度は全体の満足度とほとんど変わりません。



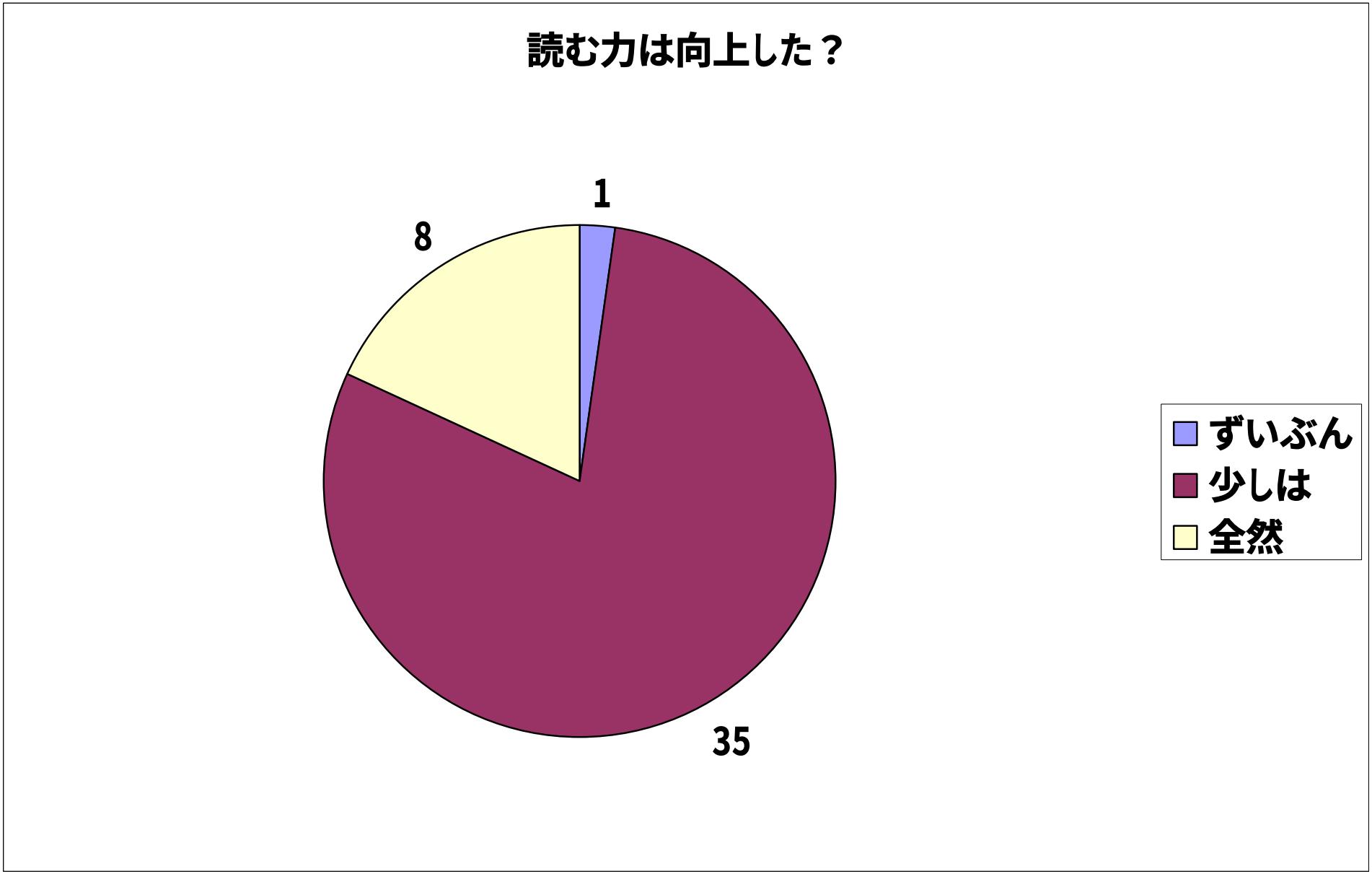
Web版のほうが不満足感が高まります。
システムの問題か？　それともWebの限界か？？



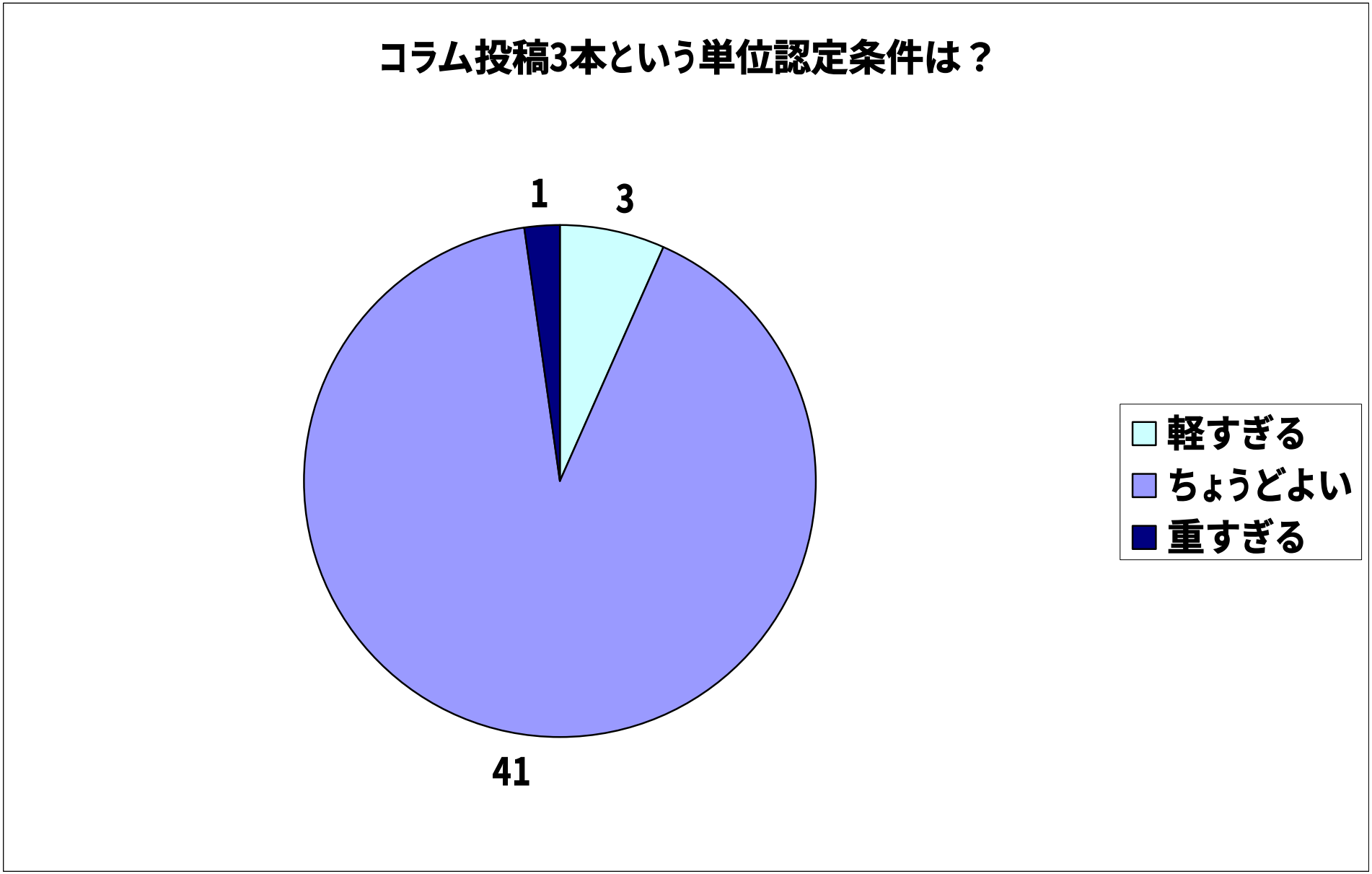
Web版にやや不満を持ちつつも、バランスは半々が宜しいようで。



「ずいぶん」が5人もいらしたのは嬉しかった！

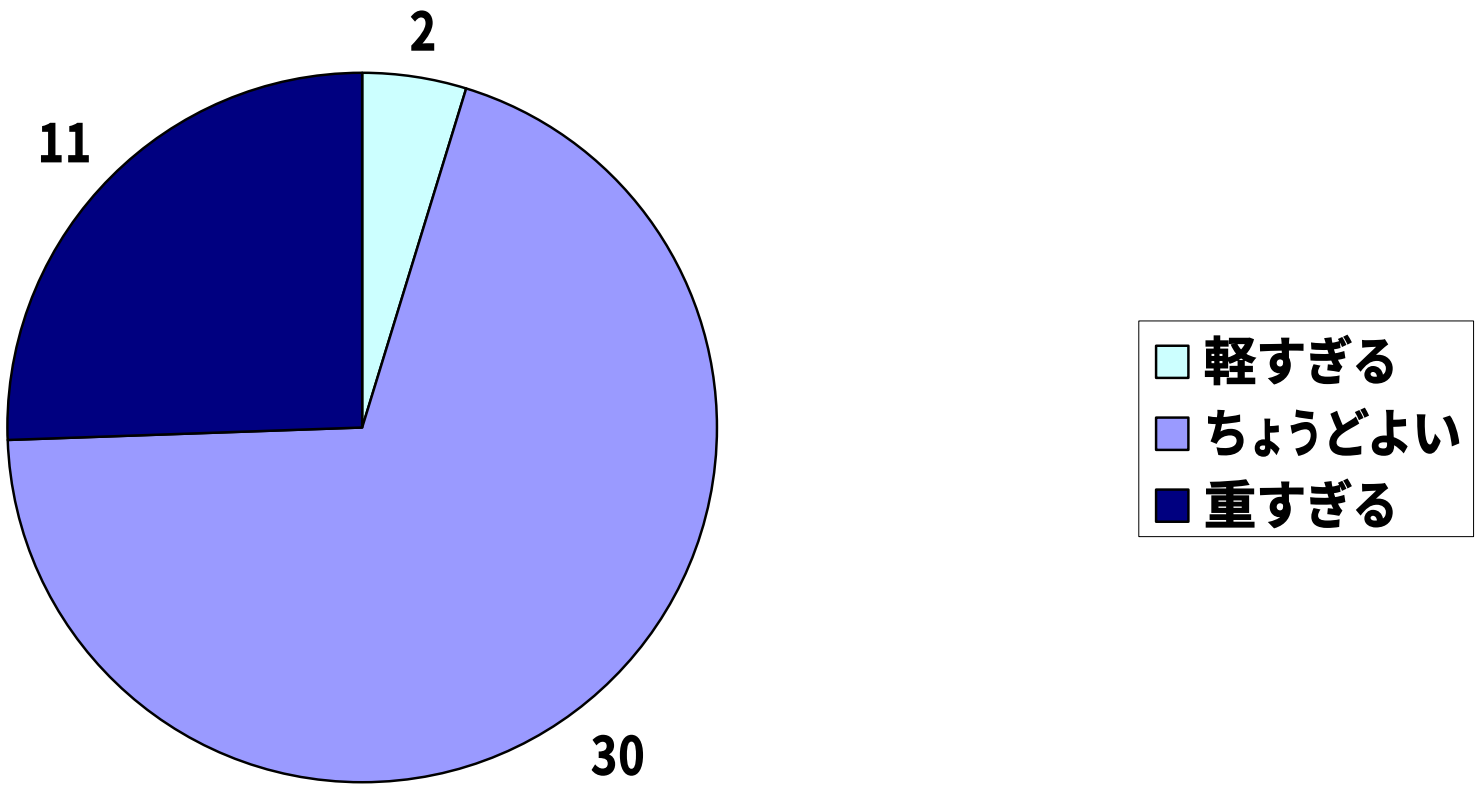


こちらはやや値が下がります。コメント力の向上も目ざしたいものです。

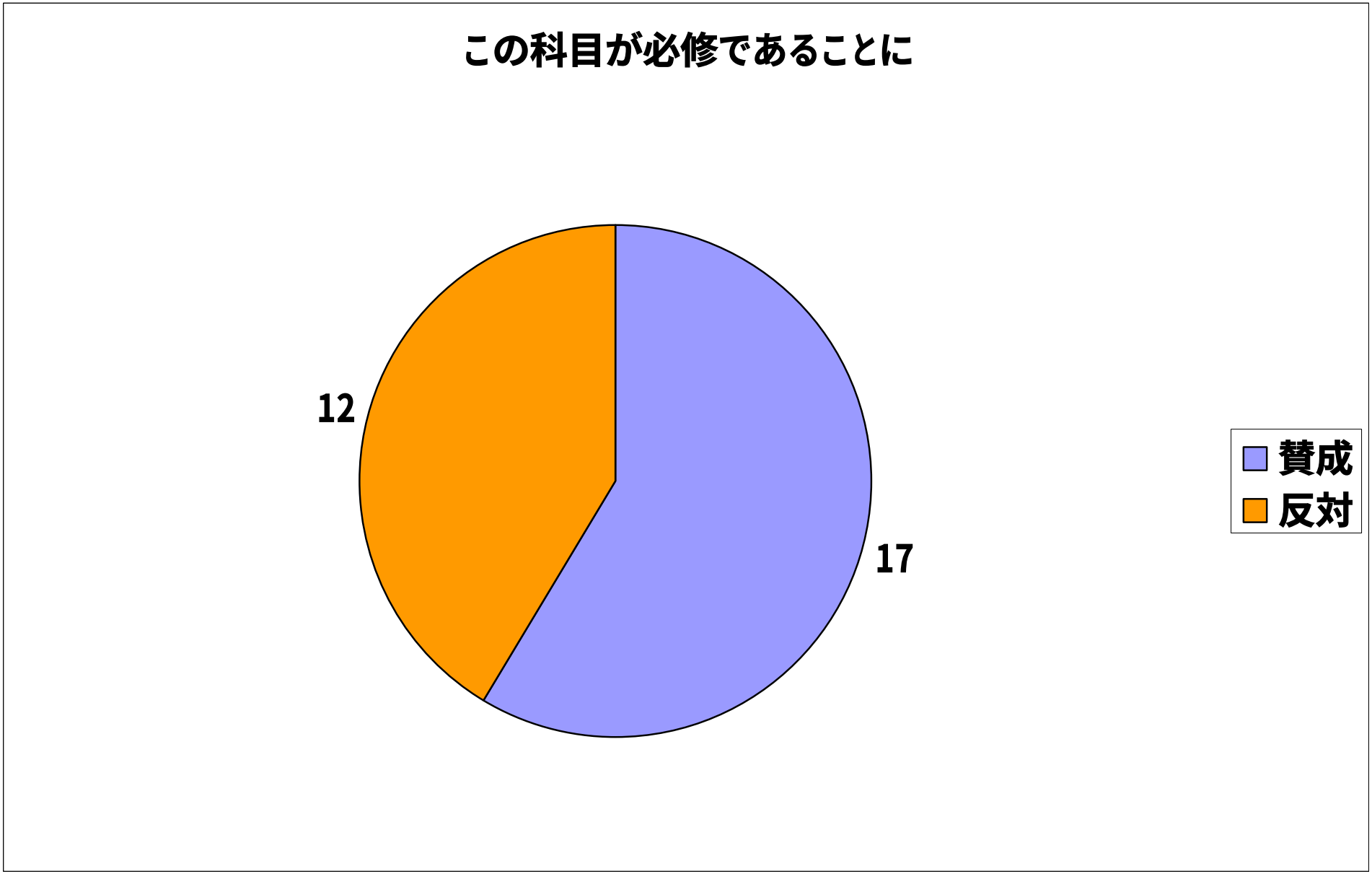


ここは変更の必要なさそうです。

コメント5＋投票というWeb版の出席条件は？

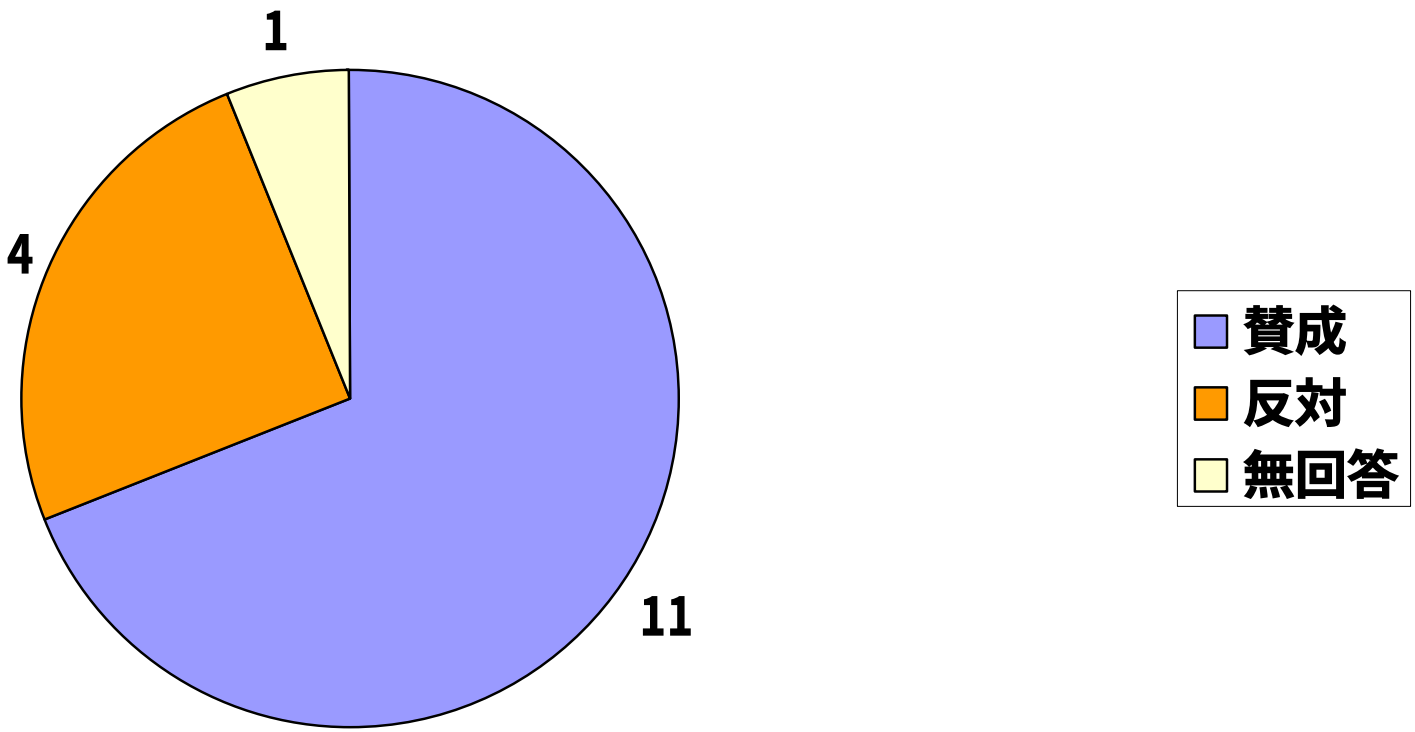


作品数の多さがタイヘン感になっているでしょうか。
コメント多めで投票なしでもいいのでは、という御意見もありました。

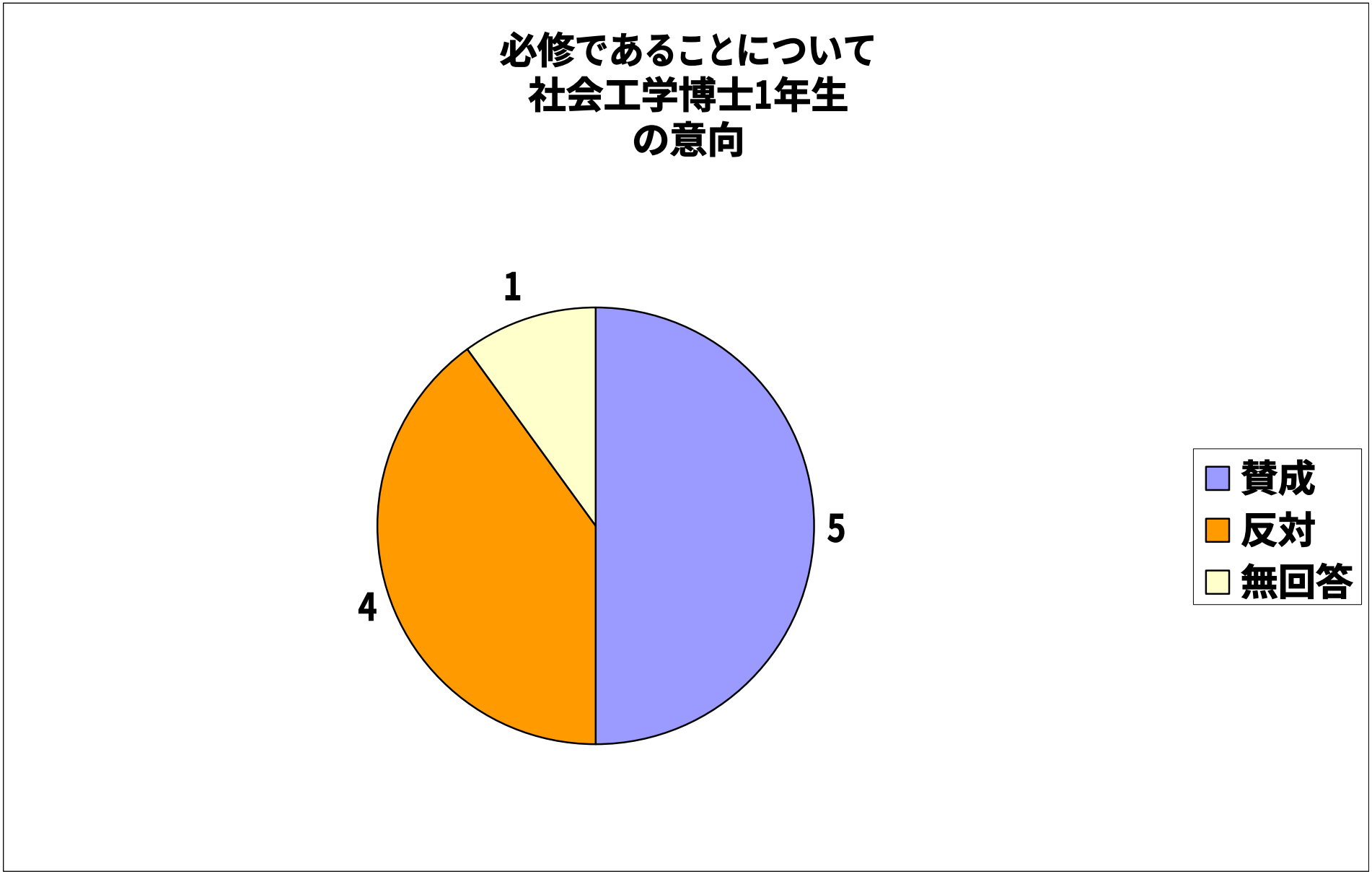


賛成、ややリード。修士/博士別に見てみます。

選択必修であることについて
社会工学修士1年生の意向



修士のかたは、おおむね納得していただいているようで一安心。



より専門性を増す博士のかたに、どう納得していただけるかが課題のようです。

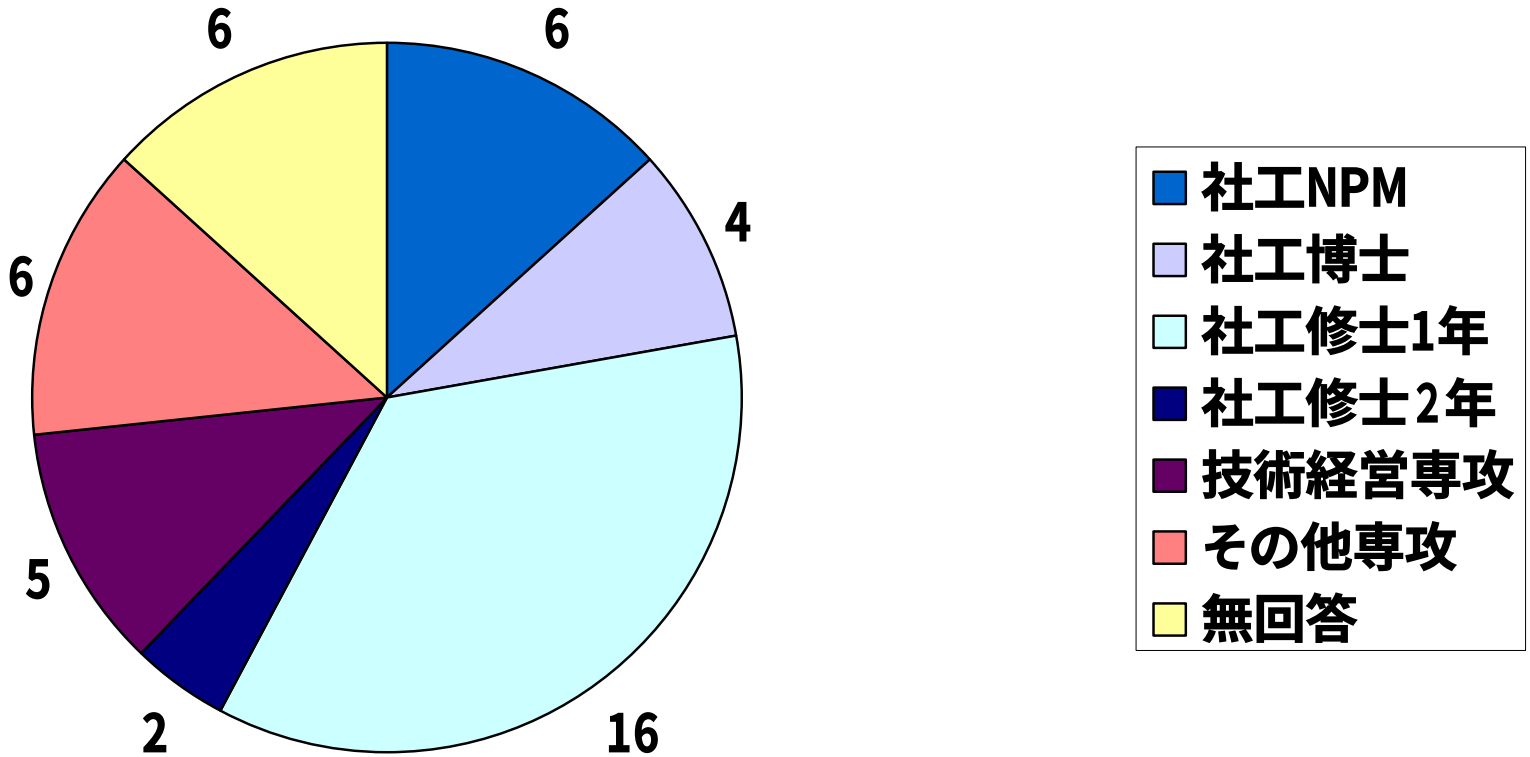
替わりに、もしくは追加で必修にしたほうがよいと思う科目

アカデミック・ライティング (2名)
論理的な文章を書く
学術論文作成演習

計量経済学
ゲーム理論

上の3つが大きな潜在ニーズでしょうか。
下の2つは関係の先生にご報告しました。

回答者属性



あらためて多彩な受講生だったんだと感嘆。この集団の特性をどう活かすか？

自由記述欄　全書き起こし＆お返事

青字は山室コメントです。

●良かった

・伝えることのむずかしさを感じられました。得た物は大きいと思います。　(社工修士 1 年)

・他人の文章を読むことはとても勉強になると思いました。授業を受ける前には、そこまで実りある講義だと思えなかったのですが、いざ授業を受けると様々な人の考えを文章を通して感じることができ、満足しています。　(社工修士 1 年)

・楽しめた。感動した。　(社工修士 1 年)

・面白い講義だったと思います。なんでもアリ的な雰囲気のある修士の講義はなかなかないので、貴重な存在です。　(社工修士 1 年)

・グループワークの中で自分の感想を発言するのは難しかった。
・他の人の書いた文章をたくさん読んで文章力やアイデアに圧倒されることがよくあった。
・とくに Web 版で自分の書いたものを多数の人に読んでもらい、コメントをもらうという経験をして良かったと思う。
・グループワークでの話し合いで、文章の読み方が勉強になった。(社工博士)

・文章表現の「論」の講義が欲しかった。でも楽しかったです。こんな講座があってもいいですね(息抜きといっては失礼ですが)。世代間の感性の違いも勉強になりました。
(NPM コース社会人)

・楽しめました。社会人コースとのコラボレーション(でいいのかな？)は good　idea だと思いました。　(社工博士)

・Web 版はとても勉強になりました。特にいろいろなコメントがとても参考になりました。　(技術経営専攻)

・社会人学生として、Web プラス週末講義のスタイルは大変助かりました。先生と TA のかた、準備が大変だったと思います。ありがとうございました。　(技術経営専攻)

・来年もこの授業がずっと続いていることを願ってます。　(他専攻)

たくさんの応援メッセージありがとうございます。
同じ大学の、同じ講義につどった仲間たちが何を感じ、それをどう表現したかをリアルタイムで体験できることが、この講義のいちばんの良さだと、あらためて原点を確認した思いです。特に社会人のかたがたをお迎えして、同年代で閉じないコミュニティを作れたことは大きな収穫だったと思います。

●講義の組み立て・運営

・文章がステップアップできるような講義の組み立てになっていてほしいと思います。なかなか、良い文章って書けないですね。　（NPM コース社会人）

・斬新な講義スタイルは面白いとは思うが、実態としては学生どうしの人気投票が中心的な講義内容となっており、文章表現力の向上に資する講義になっているとは思えない。必修科目であるからには、本人の受講態度と自助努力のみに頼るのではなく、内容のある講義にすべきである。　（NPM コース社会人）

・書く機会をもらえたことは評価できますが、その技術を向上させることには役立たないように思います。また同じスタイルを４～５回も繰り返すのは、緊張感が保てないと思います。全体を２段階くらいに分けてステップアップしていく、そのためのアドバイスを的確に与えるべきでしょう。　（NPM コース社会人）

・文章の構成や論理構造について、受講生の投稿した文をケース教材として解説・添削していく講義なのかと思っていました。が、半年間楽しめたのも事実なので、これはこれでよろしいかと。　（技術経営専攻）

→ステップアップがキーワード。社会人さんたちは、講義後に自分がステップアップできたことを実感したいという具体的な達成目標をお持ちなんだなあ、と受けとりました。
御要望に添って、少しは工夫することはできるかもしれません。たとえばお題の選定をフロア任せにせず、主催側でコントロールするとか。
ただ、そうやって毎回のセッションを方向づけしてしまうと、いったいどこに転がってゆくか分からない、いわば「筋書きのないドラマ」性が消えてしまうのが心配です。
学部版でも、毎年、その世代、そのクラスの個性のぶつかりあいによって、全く予想もしないブレイク現象が起こります。計画路線を敷いてしまうと、予定の目的地には到着できるものの、予定外のワンダーランドには迷い込めなくなる。
うーん、悩みどころです。

・作者を交えてディスカッションするべきでは。

・１－３位を決める過程は必要ないのでは（議論に上らない作品が出てくる）。

→匿名性が議論を活性化させる、という精神です。そして順位決めは、もちろんそれが主眼ではないのですが、やっぱりないとディスカッションも散漫になるし、書き手の意欲も湧かないのでは？

・土曜日は就職活動と重なることが多く、出席が難しいので、平日に開催してもらった方がよかったです。　　(社工修士１年)
・土曜日に授業をやるのは必修としてはちょっと。　　(社工修士１年)

→講義版のみだった去年、木曜日に開講しましたけど、山ほど就活欠席の申請がありましたよ。希望職種にもよるでしょうが、この時期、どの曜日で開いても同じな気がします。ならば社会人さんと出会える土曜日がベストでは？

・講義版は自分の文章がないとへこみます！！

→だから、全作品登場の回も２セッション、作ったのですけれど。

・フィクション部門とノンフィクション部門を分けたら、余計なことを考えなくて済んで良いのではないでしょうか？　（他専攻）

・実利的に考えると、物語(フィクション）をアリにしているのは勿体ないと思います。物語を構築するには、文章表現と別の技能を要しますし、読んでいる側に内容と文体を切り分けて考える視点を持たせづらいだろうと思うのです。内容に制限を設けるのは難しいし、書かせる点からはマイナスだとは思うのですが。　（他専攻）

→たまには「フィクション禁止」とか「論理的文章限定」といったセッションを作りましょうかね。

● Web 版

・Web のシステムに不具合が多い。改善を望みます。　(社工修士１年)

・Web 版がやや使いにくかったです。投票の仕方がいまだにわかりません。　　（技術経営専攻）

・Web 版のシステムが少し使いにくかったです。自分が Unix だったのがいけないんですけど。(Java Script は昔のだと動かないんです…)それ以外は面白いこころみだったと思い

ます。　（他専攻）

→システムの改善は、このあと夏コラムランドを目標に手直ししてゆく予定です。
それにしても投票もできなかったとは！　いきなり投票ボタンを捺すのではなくて、ラジオボタンで１－３位を選んでから「投票」へ、です。分からなければ訊いてくだされば良かったのに。

・Web 版の出席の件が、授業の途中で決まり、つけ焼き刃感が出ていた。コメント 5 本+投票が出席になるという話は授業の中盤あたりで初めて知りました。ともあれ、こういうところから今年以上に質の高い授業にしていってもらえれば良いと思います。　（社工修士 1 年）

→最初は、どの程度の投稿本数があるか全く読めなかったので、コメント数の目標値が設定できませんでした。第１回「怒り」コンテスト開催と同時に「どれだけ熱心にコメントを入れたかは成績評価に連動しますが、今回 33 作品もあるので……まあ 5 つから 10 個くらいの作品にコメントが付けられれば上出来かな、というくらいのめやすで」と受講者全員にメール配信しています。その後、「５」に固定して第 2 回の講義の際にプリントで配布しました。

・Web 版がとても面倒だった。講義版は、その場で読んで話し合いという形だったので、読み込むまでに時間が短く、大変だった。読む力は少しはついたかな？　（他専攻）

・いつでも投稿できる、コメントできるということで逆におろそかになってしまいました(反省)。社会人さんとの兼ね合いもありますが、講義版を増やした方がよいかも。

・Web のコメントが皆さんてきとうすぎ。
・講義・Web を含めて自分の文章に対するフィードバックがいまいち。　（社工修士 1 年）

・エッセーなのか小さな物語なのか何を求められているのか分からなかった。Web の方は受ければ良いみたいなバラエティ番組のようなものが多かった。中には大変印象に残る勉強になる作品もありました。　（技術経営専攻）

・Web 版になると、作品のテイストが急に変わる気がしました。少々の不真面目さも、味つけになることもありますが、今回は度を超えてた気がします…。まあ、程度問題なんですけども…。　（NPM コース社会人）

→ Web では、紙にタテガキするのとは全然違うテイストの文章が主流になります。そうしたメディアによる差異を体感していただくことも、敢えて講義／ Web 併用のハイブリッド・スタイルにした意図でした。

今後社会に巣立ってゆくかたがたにとって、Web での情報発信は避けて通れません。ならば、Web の特性をどうつかんで自分の味方にするかを考える機会があるのはたいせつなことかな、と考えた次第です。
で、「度を超えた」とおっしゃっている作品は「告白」のことでしょうか。
私もどうかなあと首を傾げつつ掲載したのですが、このアンケートのあと掲載された作者さんコメントを読んで、しみじみと載せて良かったなあと、ある種感動すら覚えました。どうせウソだろう、話題づくりの悪ふざけだろうと予断で疑ってかかるおのれの浅いさかしらを撃つ何かがここにはあると感じます。

・Web 版の自分の文章へのコメントって、けっこう心に痛いです。。。　涙が出そうになりました。

→私が最近、泣いたのは
http://www.columnland.net/cgi-bin/column/06ta_bbs.cgi
の　127　番です。

●必修反対

・すばらしい授業ですが社会工学と必然的関係がありません。　（社工修士 1 年）

・文章を書く、読むという点において人の感じ方は多種多様であったと感じました。しかし、そうであるなら、それは普段本でも読んで感じれば良い事であり、授業、特に必修でやるような事でもないのかな？と思いました。　（社工修士 1 年）

・必修にする必要が全くないと思う。

・東工大生は文を書くのになれてないっぽいので、必修でいいと思います。　（社工修士 1 年）

私じしんが主張したことによってこの講義が必修化したわけではありませんが、社会工学専攻の先生方が、これを必修科目にと判断されたのは、文章力はあらゆる知的営みの根源である、というごくごく自然な発想からであろう、と私はとらえています。
特に工学系のなかでも、社会分析や合意形成と縁の深い、すなわち「人」と縁の深い工学である社会工学にとって、数だけでなく「ことば」を操れるようになることは、やはりかなりたいせつなことなのでは？
文章力は一朝一夕に身に付くものでは、もちろんないのですが、漫然と本を読んでいても、好きな世界に浸るだけで終わりそうです。嫌いなタイプの文章とも直面しなくてはならない半年間を過ごすことで、自分の書く文章について自覚的に見直す機会になれば、と

願って講義設計しています。
　修士のかたにとっては「選択必修」なので、もう１科目くらい選択肢を増やせると良いのかもしれません。みなさまのご意見は、すべて専攻にフィードバックします。

　さいごに。
　この場につどって、御自身の物語の一部を分けてくださったすべての参加者のみなさんに、心からの感謝を。